

平成 18 年 2 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17 年 12 月 27 日

上場会社名 株式会社 C F S コーポレーション (コード番号：8229 東証第一部)
(URL <http://www.cfs-corp.jp>)

代表者 代表者役職・氏名 代表取締役社長 米田 幸正

問合せ先 責任者役職・氏名 取締役経理人事本部長 日吉 惇 TEL：(045) 476 - 7474

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
税金費用については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 18 年 2 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 2 月 21 日～平成 17 年 11 月 20 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18 年 2 月期第 3 四半期	108,620	1.2	1,241	-	1,374	-	616	-
17 年 2 月期第 3 四半期	109,937	-	-	-	-	-	-	-
(参考)平成 17 年 2 月期	147,654		1,747		1,790		652	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
18 年 2 月期第 3 四半期	20 62	-
17 年 2 月期第 3 四半期	-	-
(参考)平成 17 年 2 月期	21 73	-

(注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
2. 売上高以外の項目は、当連結会計年度より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績および増減率については、記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期は、第一次中期 3 ケ年計画の基礎年として、中間期に引き続き「医・食・心同源」をコンセプトとした「健康維持・増進に関するソリューション企業」の確立を目指すとともに、商品政策・販売政策・価格政策の一元管理と固定客重視の施策に一層注力し、プライベートブランド商品の開発強化および大型改装や非効率な店舗の閉鎖等、基礎収益力の強化を進めてまいりました。

店舗につきましては、ドラッグストア 4 店舗を出店する一方、既存店のドラッグストア 2 店舗の閉鎖をいたしました。

また、平成 17 年 9 月株式会社ダイエーとの間に行った同社の H B C 事業（ヘルス&ビューティーケア事業）に関する当社の店舗運営ノウハウの提供、商品供給等を主旨とする提携につきましては、9 月に改装した同社千里中央店（大阪府豊中市）で好調なスタートをしておりますが、今後同

社の店舗改装計画にあわせ順次本格化してまいります。

当第3四半期までの業績につきましては、売上高1,086億20百万円(前年同四半期比98.8%)、経常利益13億74百万円、四半期純利益6億16百万円となりました。

なお、12月には当社のスーパーマーケットとして都内一号店となる「キミサワ自由が丘奥沢店」(東京都目黒区)を「ハックドラッグ自由が丘奥沢店」とともに同一ビル内に開店いたしました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年2月期第3四半期	52,736	20,676	39.2	691 48
17年2月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)平成17年2月期	54,299	20,450	37.7	683 77

(注)当連結会計年度より四半期財政状態の開示を行っているため、前年同四半期実績については記載しておりません。

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は前連結会計年度末に比べ15億62百万円減少し527億36百万円となりました。この主な要因は、財務体質強化のために借入金の返済を進めたことにより現金及び預金が減少したことおよび差入保証金が減少したこと等によるものであります。負債の部につきましては、前述のとおり借入金の返済を行ったことにより前連結会計年度末に比べ17億88百万円減少し320億59百万円となりました。また、資本の部につきましては、2億26百万円増加し206億76百万円となり、株主資本比率は1.5ポイント増加し39.2%となりました。

○ 添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書

以上

[参考]

平成18年2月期の連結業績予想(平成17年2月21日~平成18年2月20日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通期	152,000	2,650	1,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 33円 44銭

[業績予想に関する定性的情報等]

平成17年4月5日付け決算短信(連結)にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

〔添付資料〕

1 .(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当第3四半期末 (平成17年11月20日)		(参考)前連結会計年度 (平成17年2月20日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(資産の部)				
流動資産				
1 現金及び預金	4,774		6,180	
2 売掛金	2,079		1,991	
3 たな卸資産	12,407		12,194	
4 その他	2,604		2,590	
流動資産合計	21,866	41.5	22,957	42.3
固定資産				
1 有形固定資産	13,470		13,506	
2 無形固定資産	1,364		1,236	
3 投資その他の資産	16,035		16,598	
固定資産合計	30,870	58.5	31,341	57.7
資産合計	52,736	100.0	54,299	100.0

科目	当第3四半期末 (平成17年11月20日)		(参考)前連結会計年度 (平成17年2月20日)	
	金額	構成比	金額	構成比
(負債の部)				
流動負債				
1 買掛金	12,555		13,212	
2 一年内返済予定長期 借入金	3,475		3,575	
3 その他	5,719		4,827	
流動負債合計	21,749	41.2	21,614	39.8
固定負債				
1 長期借入金	7,525		9,675	
2 預り保証金	1,779		1,848	
3 その他	1,005		711	
固定負債合計	10,310	19.6	12,234	22.5
負債合計	32,059	60.8	33,848	62.3
(少数株主持分)				
少数株主持分	-	-	-	-
(資本の部)				
資本金	5,660		5,660	
資本剰余金	4,945		4,945	
利益剰余金	9,844		9,709	
其他有価証券評価差額金	232		140	
自己株式	7		6	
資本合計	20,676	39.2	20,450	37.7
負債、少数株主持分 及び資本合計	52,736	100.0	54,299	100.0

2 . (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 : 百万円、 %)

科目	当第3四半期 (自平成17年2月21日 至平成17年11月20日)		(参考)前連結会計年度 (自平成16年2月21日 至平成17年2月20日)	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	108,620	100.0	147,654	100.0
売上原価	78,325	72.1	107,249	72.6
売上総利益	30,294	27.9	40,405	27.4
販売費及び一般管理費	29,052	26.7	38,658	26.2
営業利益	1,241	1.2	1,747	1.2
営業外収益	320	0.3	389	0.2
営業外費用	188	0.2	345	0.2
経常利益	1,374	1.3	1,790	1.2
特別利益	207	0.2	-	-
特別損失	297	0.3	609	0.4
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,283	1.2	1,181	0.8
税金費用	667	0.6	528	0.4
四半期(当期)純利益	616	0.6	652	0.4